



<報道関係各位>

2025 年 2 月 18 日
CRITEO 株式会社

Criteo、デジタル広告品質認証機構 JICDAQ より

DSP 事業に関する認証を更新、また、新たに SSP 事業に関する認証を取得



コマースメディアを展開する Criteo（クリテオ、本社:フランス、日本代表取締役:グレース・フロム、以下Criteo）は、デジタル広告掲載品質の第三者認証機構「JICDAQ（一般社団法人 デジタル広告品質認証機構）」の認証基準に基づき、一般社団法人日本 ABC 協会による業務プロセスの検証・確認を経て、「アドフraudを含む無効配信の除外」（“人”に届いていない広告配信の排除）と「広告掲載先品質に伴うブランドセーフティの確保」（明らかに違法・不当な広告掲載先の排除）の 2 分野において、同社が展開するデマンドサイド・プラットフォーム（DSP）の「品質認証事業者」としての認証を更新、またサプライサイド・プラットフォーム（SSP）の「品質認証事業者」としての認証を取得しましたので、お知らせいたします。

DSP 事業については、2022 年より継続して認証を更新しており、SSP 事業については、2025 年 2 月 1 日に認証されました。これにより、同社が提供する、コマースに特化した SSP である「コマース・グリッド」を新規で利用する企業様も、これまで以上に安心してお使いいただくことができますようになります。

● JICDAQについて

デジタル広告の掲載品質を認証する機関として、公益社団法人 日本アドバイザーズ協会、一般社団法人 日本広告業協会、一般社団法人 日本インタラクティブ広告協会の広告関係 3 団体により 2021 年 3 月に設立され、デジタル広告の健全な発展のために、JICDAQ はデジタル広告関連事業者の「アドフraudを含む無効トラフィックの除外」と「広告掲載先品質に伴うブランドセーフティの確保」に関わる業務プロセスの認証基準を制定し、その基準に沿う適切な業務を行っている事業者を公開しています。



● 認証の概要：

デマンドサイド・プラットフォーム（DSP）の「品質認証事業者」としての下記分野での認証を更新

- 「アドフraudを含む無効配信の除外」（“人”に届いていない広告配信の排除）
- 「広告掲載先品質に伴うブランドセーフティの確保」（明らかに違法・不当な広告掲載先の排除）

サプライサイド・プラットフォーム（SSP）の「品質認証事業者」としての下記分野での認証を取得

- 「アドフraudを含む無効配信の除外」（“人”に届いていない広告配信の排除）
- 「広告掲載先品質に伴うブランドセーフティの確保」（明らかに違法・不当な広告掲載先の排除）

● 認証の背景と意義

JICDAQ は、各事業者の業務プロセスが認証基準を満たしているかを検証・確認し、基準を満たす事業者を「品質認証事業者」として認証・公表することに加え、JICDAQ の理念に賛同するアドバイザーの社名を公開することで、広告関連事業者とアドバイザーが共同して広告の掲載品質向上を図ることを目的としています。この度、昨年 10 月のコマース・グリッドのローンチにより SSP 事業を新たに展開したことを受け、DSP および SSP の両分野で認証を受けたことは、デジタル広告品質向上という課題に対する、Criteo の日本市場へのコミットメントの一環です。Criteo のお客様は、アドフraud（広告詐欺）やブランド毀損などのリスクに対し、その対策が確かに整った環境であることを再確認でき、今まで以上に安心して広告活動を行うことが可能になります。Criteo は今後も、ブランドや消費者にとって品質の高い有益な広告が配信されるよう、「公正でオープンなインターネットを支持し、すべての人により良い体験を提供する」というビジョンの実現に向けた取り組みを強化してまいります。

■ Criteo (クリテオ) について ■

Criteo S.A. (NASDAQ: CRTO) は、より良いコマースの成果をメーカーやメディアオーナーに提供するグローバルコマースメディア企業です。業界をリードするコマースメディア・プラットフォームは、数千以上のメーカーとメディアオーナーを連携させ、商品との出会いから購入までのより豊かな体験を買い物客にもたします。信頼性に高いインパクトのある広告を提供することで、Criteo は、新たな発見、イノベーションの実現、より豊かな選択を可能にするオープンインターネットを支えています。 ※CRITEO 株式会社はその日本法人です。www.criteo.com/jp/